



第27回 千曲塾開催のおしらせ

テーマ

「地図から見える治水と歴史」 ～全国に先駆けて千曲川で治水地形分類図を更新～

千曲川河川事務所では、流域の皆さんに千曲川と地域のかかわりを様々な視点で解きほぐし、これからの千曲川のあり方を考えていただくことを目的に、平成13年度から「千曲塾」として、千曲川の風土、歴史、自然、環境などをテーマに講演会などを開催しています。

第27回目となる今回は、昭和50年代に治水対策を進めるための基礎資料として、国土地理院が制作した『治水地形分類図』を、千曲川河川事務所等が全国に先駆けて更新を行ったことを紹介します。

この地形図からは、長野市松代の「千曲川瀬直し」の痕跡などのように、かつての蛇行流路と現在の流路を比較することができるほか、平成18年の大洪水では長野市赤沼、須坂市福島など48箇所もの基盤漏水が発生しましたが、漏水箇所の多くは、かつての千曲川の上に堤防を築いた場所であることなどの事例を紹介し『治水地形分類図の利活用』をテーマとして、別紙により開催いたしますので、取材等いただきたく、お知らせいたします。

【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局
千曲川河川事務所

副所長（技術）石川俊之

TEL 026(227)7611

参考資料

○「千曲塾」の開催目的

人と川とのつきあいは、水と闘い、水の利用や、漁業、舟運による物資の輸送など直接的なものに留まらず、街の発展過程や、地域文化の形成等にも深く関係してきました。

千曲川においても、現在目にする千曲川や沿川地域の姿は、昔からその時々の時代を背景とした、千曲川と地域とのかかわりにより形づくられてきたものであります。

千曲塾は各回ごとにテーマを設け、テーマに関係した研究者・専門家の方々をお招きし、千曲川と地域とのかかわりを様々な視点で解きほぐし、意見交換を行い、これからの千曲川のあり方を考えていくものです。

○「千曲塾」過去の開催内容

第1回	平成13年 1月31日	寛保の洪水（その1）
第2回	平成13年 5月31日	寛保の洪水（その2）
第3回	平成13年 7月23日	現地検証会「寛保の洪水」
第4回	平成13年10月22日	千曲川・犀川のサケ
第5回	平成14年 1月28日	千曲川の水質
第6回	平成14年 6月 3日	千曲川・犀川の地形と地質
第7回	平成14年10月 7日	現地検証会「千曲川上流部の地形と風土」
第8回	平成15年 1月27日	千曲川流域の交通と温泉開発
第9回	平成15年 7月 7日	千曲川の通船
第10回	平成15年10月20日	現地検証会「千曲川から信濃川まで ～流域の治水と文化～」
第11回	平成15年12月24日	千曲川の人々と暮らし
第12回	平成16年 6月14日	渡しと舟橋
第13回	平成16年11月 1日	現地検証会「街道と渡し」
第14回	平成17年 2月14日	漁業の移り変わり
第15回	平成17年 7月 5日	千曲川と流域の農業
第16回	平成17年10月 4日	現地検証会「高瀬源流視察～流域の水利用～」
第17回	平成18年 2月22日	千曲川の自然と暮らし ～植生の変化と川の遊び～
第18回	平成18年 6月30日	善光寺地震
第19回	平成18年10月17日	現地検証会「中越地方と信濃川の風土 ～千曲川から信濃川へ～」
第20回	平成19年 2月22日	千曲川・信濃川の治水
第21回	平成19年 9月26日	現地検証会「千曲川下流域の治水」
第22回	平成19年10月11日	水系一貫～これからの千曲川・信濃川の治水～
第23回	平成20年 2月12日	千曲川の変遷と治水
第24回	平成20年12月11日	気候変動と水災害～そのリスクにどう立ち向かうか～第
第25回	平成21年 3月11日	外来種の広がりやをどう防ぐか ～その実態と対策～
第26回	平成22年 1月28日	「日本の屋根」を流れる千曲川

第27回 千曲塾

「地図から見える治水と歴史」

～全国に先駆けて千曲川で治水地形分類図を更新～

治水地形分類図とは、かつて川が流れていた場所など、治水と関連する地形を分類して図示し、洪水時の被害の危険性を予測することなど、治水対策を進めるための基礎資料として、昭和50年代に国土地理院が制作した地図ですが、作成後30年を経過したことから、今回、千曲川河川事務所等が全国に先駆けて更新を行いました。

この地図からは、長野市松代の「千曲川瀬直し」の痕跡など、かつての蛇行流路と現在の流路を比較することができます。「治水地形」に加え、「人間の営み」「治水の歴史」が見えてきます。

また、平成18年の大洪水では長野市赤沼、須坂市福島など48箇所もの基盤漏水が発生しましたが、漏水箇所の多くは、かつての千曲川の上に堤防を築いた場所であることも見えてきます。

日時：平成22年3月10日(水) 13時30分～16時30分

場所：長野市生涯学習センター 4階「大学習室1」

長野市大字鶴賀問御所町1271-3「トイゴ」

TEL026-233-8080 **入場無料**

定員 150名(定員になり次第締め切りとさせていただきます)

※**駐車場は有料**となりますので、なるべく公共交通機関でおいでください。

パネルディスカッション形式

○パネラー

- | | |
|-------|----------------------------|
| 市川 健夫 | 千曲塾塾長(東京学芸大学名誉教授) |
| 熊谷 清 | 治水地形分類図利活用研究会委員(元国土地理院参事官) |
| 滝澤 公男 | 温泉資料館館長(元長野県立歴史館資料調査員) |
| 福島 芳和 | 国土地理院地理調査部長 |
| 樽井 一郎 | 須坂市まちづくり推進部長 |

○コーディネーター

安達 孝実 千曲川河川事務所長

●お申し込み・お問い合わせ

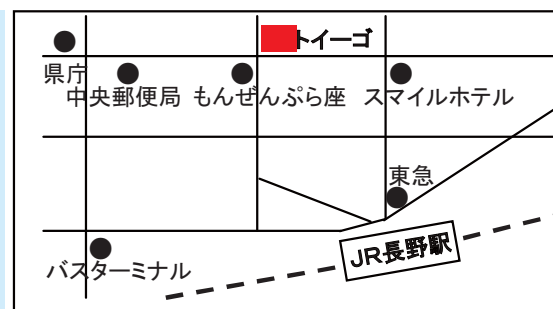
住所、氏名、職業、電話番号を明記の上、郵送、FAX、お電話でお申し込みください(平成22年3月2日締め切り)

主催及び申込先：国土交通省 千曲川河川事務所 調査課
〒380-0903 長野市鶴賀字峰村74

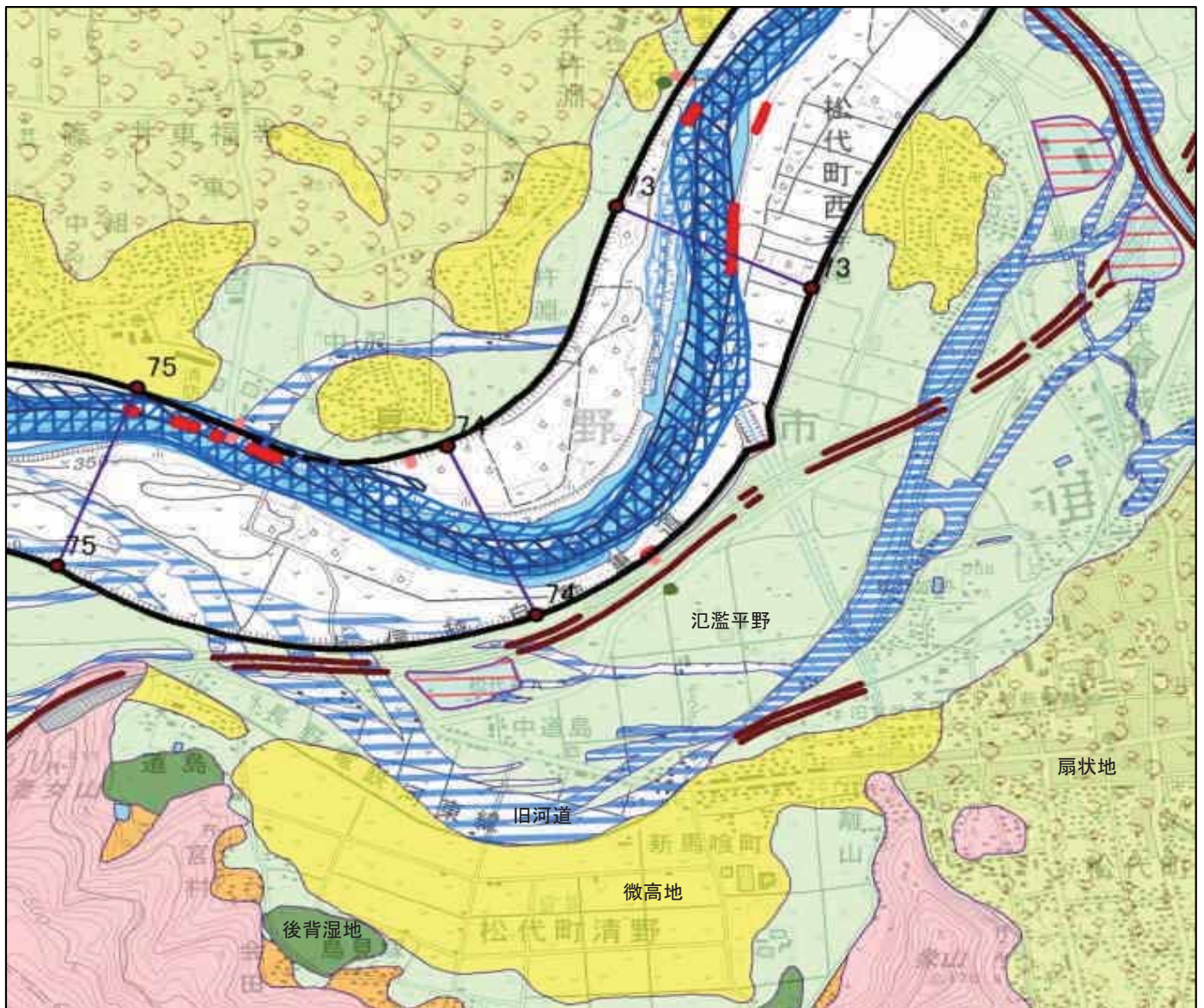
TEL026-227-9434 FAX026-227-7682

後援：(社)北陸建設弘済会

※ご記入いただいた個人情報は「千曲塾」に関する情報提供を目的とするものであり第三者への提供は行いません



治水地形分類図（千曲川地区更新図）の見方



長野市松代地区の事例

微高地（自然堤防等）・・・氾濫平野より相対的に地盤が高く、洪水の被害を比較的受けにくいいため、古くから集落や畑に利用

氾濫平野・・・河川の氾濫により形成され、主に水田に利用されていて洪水被害を比較的受けやすく、建物の立地には注意が必要

后背湿地・・・極めて軟弱な地盤であるため、わずかな降雨でも湛水しやすく、湛水深、湛水時間ともに大きい

旧河道・・・相対的に地盤が低く、現在は主に水田に利用され、洪水の被害を比較的受けやすく地盤も軟弱な場所

治水地形分類図(千曲川地区更新図)の凡例

大分類	中分類	小分類	細分類
山地	山地	 山地	
台地・段丘	台地・段丘	 段丘面  崖(段丘崖)  浅い谷	
低地	山麓の堆積地形	 山麓の堆積地形	
	扇状地	 扇状地の一般面	
	氾濫平野	 氾濫平野の一般面	
	[扇状地、氾濫平野]	 微高地	
		旧河道	 旧河道(明瞭)  旧河道(不明瞭)
		 落掘	
	氾濫平野	 後背湿地	
砂州・砂丘	 砂州・砂丘		
人工改変地形	人工改変地形	 干拓地  盛土地・埋立地  切土地  連続盛土	
その他の地形等	その他の地形等	 天井川の区間	
		 現河道・水面	
		旧流路	 昭和35年  昭和27年  昭和6年  大正元年  明治26年
		 地盤高線	
河川管理施設等	旧堤防	 旧堤防	
	河川管理施設	堤防	 完成堤防  暫定堤防  暫暫定堤防
		 護岸	
	河川工作物	 水位観測所  流量観測所  水質観測所  雨量観測所  樋門・樋管  水門・閘門  機場	
	事務所・出張所	 事務所  出張所	
	 距離標		